

令和 8 年 第 2 回 定 例 会

一 般 質 問 事 項 ・ 要 旨

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
小 池 喜 昭	1. 安心安全対策について	① A E D の普及について ・ 行政機関内での A E D 設置状況 ・ 町内 (企業や商業施設等) での A E D 設置の現状把握について ② 救命講習会の職員受講について
	2. 小海町の宇宙天文学について	① 北牧楽集館のプラネタリウム修繕への予定と今後の活用について ② 南佐久唯一の高校、小海高校の存続への提案
黒 澤 敦 史	1. 児童館増築工事における社会福祉施設等整備事業補助金 (県補助金) 申請の問題について	① 県補助金が当初の想定よりも減額となった理由 ② 減額に関する情報がいつ、誰に、どのように届き、どの段階で議会説明の内容として固まったのか ③ 議会への答弁が誤りであったことに対する、町としての責任をどのように認識しているか ④ 補助金申請における誤りを防止するため、どのような仕組みの整備を考えているか ⑤ 議会における答弁の正確性担保のため、どのような取り組みを行うか
古 谷 恒 晴	1. 小海リサイクルセンターについて	① 責任は県にあるが、小海町に有地しているので、町の対応について
	2. 草刈久保について	① 現状と今後について
	3. 土村の依田電機跡地と公園整備について	① 地権者からの要望があり、町の対応は ② 駐車場はどのようにするのか
	4. 党機関紙の庁舎内勧誘行為について	① 現状の確認
菊 池 一 巳	1. 小海高校の存続に向けて	① 小海高校の志願状況及び高校無償化に伴う第 2 学区の志願状況の動向について ② 県立高校の特色「見える化」の取組み状況について第 2 学区の現状は ③ 町が現在行っている小海高校への支援状況は ④ AI の普及に伴う社会情勢の変化に伴う職業選択を見据えた進路について ⑤ 前段の状況を踏まえて、小海高校存続の為に、公立高校全国募集制度の活用を

渡 辺 均	1. 町民の声を聴いているか	① 町民の声が政策に反映されていない、という声が届いている。この指摘をどう受け止めるか
	2. 町民に実情を伝え対策を示しているか (1)八峰の湯事業 (2)社協の赤字と人材不足問題 (3)直売所の赤字対策は (4)教育関係の実情について (5)その他、道路や橋梁などの補修情報などの開示について	① 利用者増が赤字を増やす経営は妥当か ② 抜本的な改革が必要ではないか ③ どのような見通しを持っているのか ④ 中学校議会の活動は町民に語られているのか ⑤ 工事の実態が説明されていないのでは
	3. 公民館報/広報こうみについて (1)その役割をどう考えているか (2)編集は誰がどう担当し、執筆は誰か (3)編集は誰がどのように行っているか (4)個別案件について	① 町民に実情を十分伝えているか ② 取り上げた事業の成果を伝えているか ③ 教育、社協/やすらぎ園などの実情を伝えているか
	4. 児童館、福祉住宅に関する議会軽視、虚偽答弁への見解と開示について、移住定住者住居への転換も虚偽ではないか	① 信毎記事に、よく分からない、という声が届く。事実経過の開示を要請したい。虚偽答弁は公務員法に抵触しないか
的埜美香子	1. 高すぎる国保税への町の手立ては	① 国保財政が厳しいと言うが、保険税で賄うという考え方で良いのか ② 改めて基金のあり方について ③ 均等割の子ども分は全て町で負担を
	2. 子ども・障がい者医療費窓口完全無料化を	
	3. 物価高騰・資材不足から暮らしと営業を守る緊急対策は	① 町民の暮らしへの影響、実態は ② 営業への影響、実態把握は ③ 緊急対策は

渡 邊 晃 子	1. 児童館増築工事に伴う行政運営の在り方について	<ul style="list-style-type: none"> ① 新聞等で報道された事についての見解は ② 町民への説明は ③ 業者、町の責任は ④ 工事の進捗状況、職員体制は ⑤ 改めて具体的な再発防止策は
	2. 自衛隊への名簿提供について	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和6年第2回定例会時点で、名簿提供を行っていたが変わらないのか ② 提供の根拠、町民への説明は ③ 自衛隊という組織をどう捉えているか
中 村 佳 太	1. 福祉住宅関連	<ul style="list-style-type: none"> ① 当初の計画はどのようなだったか ② 現在の形に落ち着いた経緯 ③ 補助金周りの問題(福祉住宅では使えない)が顕著化したタイミングはいつか ④ 議会に報告するタイミングに関して今後町民に説明する予定はあるか
	2. 児童館関連	<ul style="list-style-type: none"> ① 新聞に取り上げられた事の経緯 ② 補助金申請手続きの適正さ ③ 答弁の誤りや引継ぎ面などの再発防止や、改善に向けた現状の取り組み